

32 ^{すず} 錫の鑄造オブジェ

マンホール蓋づくりと同じ工程で鑄造オブジェを製作。



<p>体験のポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 粘土細工や木の葉、貝殻などをオブジェの原型として使用。 ・ 砂を炭酸ガスで固めて型を作り、溶解した金属を流し込むという鑄物工場での生産（マンホール、門扉、欄干、機械部品など）と同じ工程を模擬体験する。 ・ 錫が綺麗に流れ込むようなデザインの模型を作ることで、完成する鑄物の細かいラインやできばえが良くなることを体験する。 ・ 錫の熔融、鑄込みを通じて金属の性質を学ぶ中で、様々な加工方法があり、いろいろな「ものづくり」の職業があることに気づく。
<p>工業製品に関連する技能</p>	<p>鑄造、デザイン</p>

①オリエンテーション



講師の紹介と仕事や作業手順の説明を聞く。

②模型作り



鑄造の型づくりの特徴を聞き、粘土で模型を作る。

③砂を入れ炭酸ガスで固める



模型を入れた枠に砂を入れ、砂を炭酸ガスで結合し、下型を固める。

④湯口棒立て



反転してダボをほり、湯口棒を立てる。砂を入れ上型を固める。

⑤模型、湯口を取り除く



上型と下型を合わせ面を上にしてひろげ、模型と湯口を取り除く。

⑥錫(すず)を鑄込む



溶けた錫が流れ込む道(せき)を削り型を合わせて、錫を流し込む。

⑦バラシ



砂を取り除いて中のオブジェを取り出し、ヤスリで磨いて完成。

⑧片付けとまとめ



片付けた後、鑄造の話聞き、まとめをして終了。